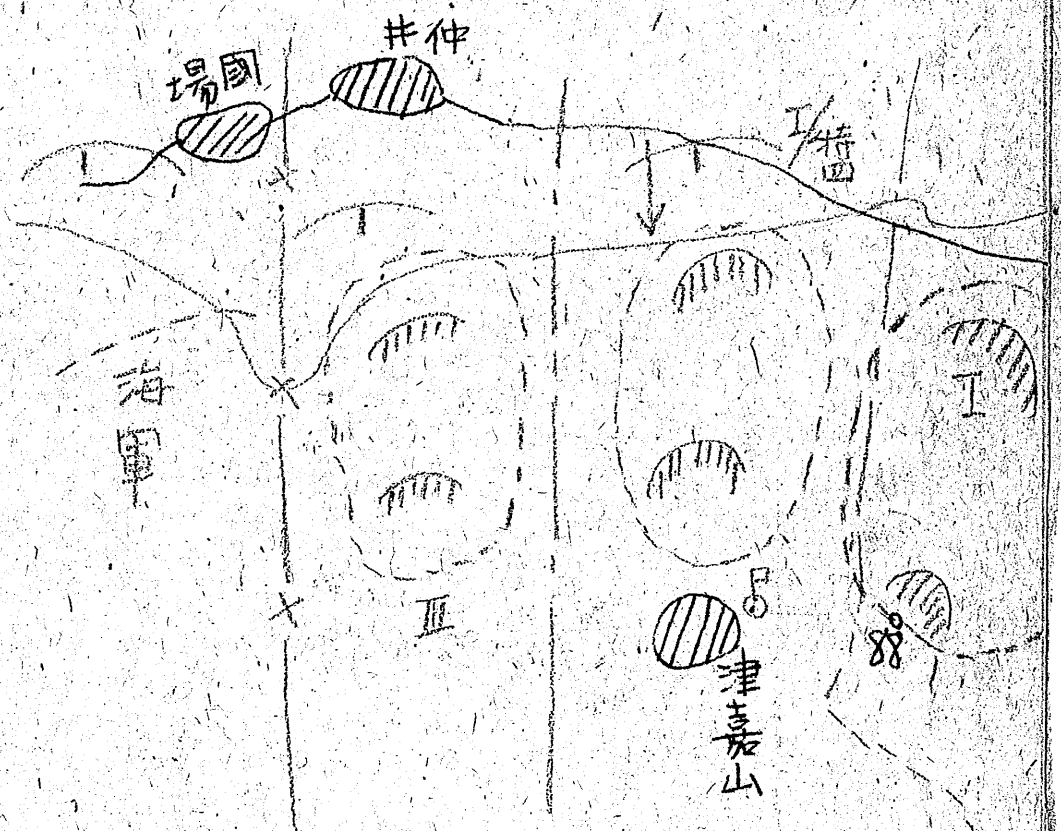


津嘉山附近第二收容陣地要地圖

(於五月三十一日)



備考
 二十日予備隊より
 第三中隊よりIニ復帰
 セシム

62D

I 正面ニ於テ六月十日ヨリ連日戦車ヲ有スル優勢ヲ示シ高ノ丘ヲ以テ陣地ヲ
 方面ヨリ宮平兼坂本部附近ニ進攻シ果シテIハ能ク奮戦シ多大ノ戦果ヲ收メ
 ツノ所命ノ時期迄陣地ヲ確保ス
 中七第一線亦相当ノ敵ヲ攻撃シ多大ノ戦果ヲ挙げテ陣地ヲ確保ス各收容
 部隊又各隊ハ予定ノ計畫ノ如ク六月三日迄ニ島内各地ニ集結ヲ完了ス

五十一、六月三日師團命令ニ依リ再ハ左記ノ部隊編入セラル

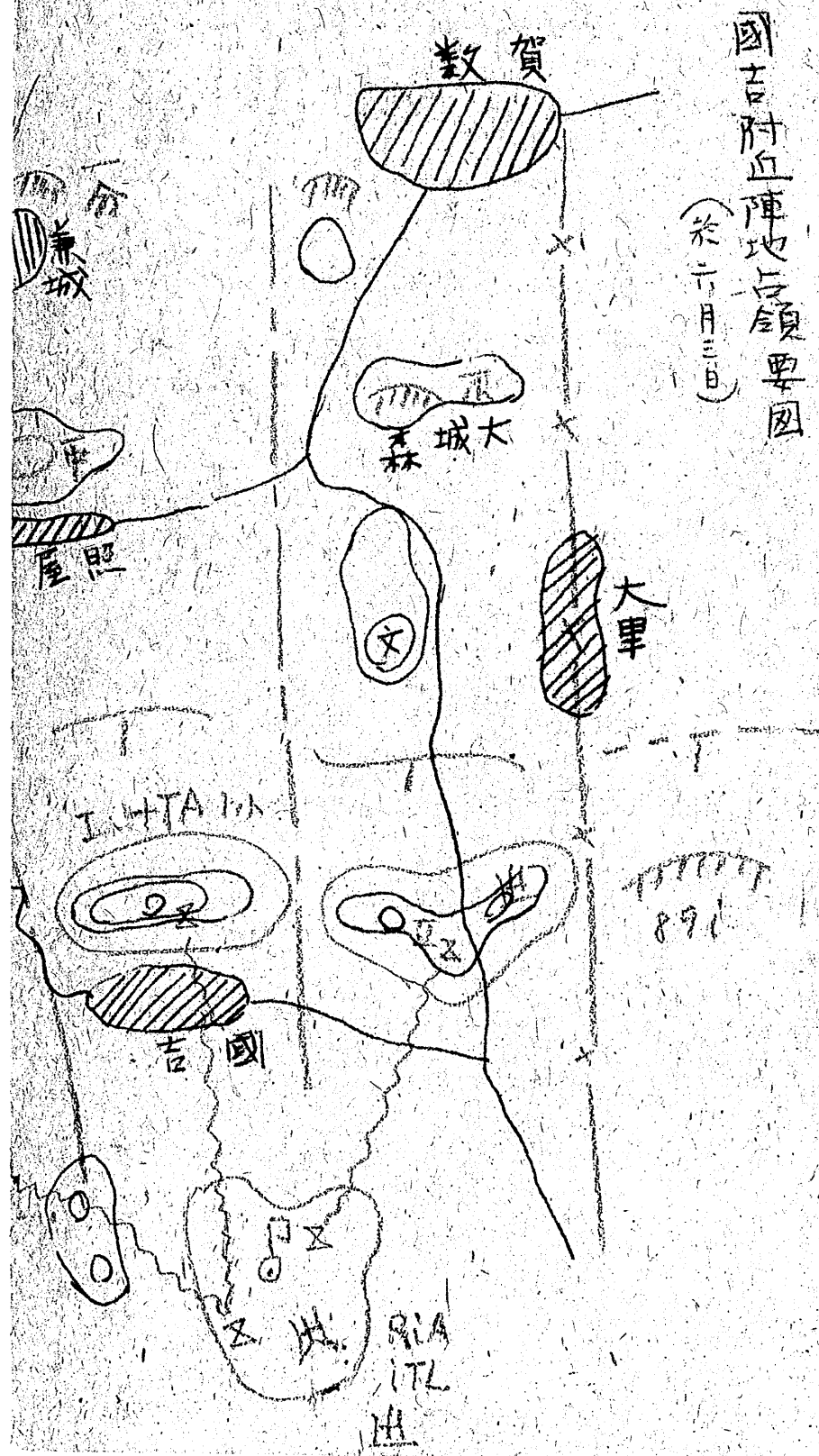
- 独立機関銃 第三大隊 (一中包)
- 独立速射砲 第七大隊 (一小包)

- 特編第四聯隊 第三大隊 (一中包)
- 特編第四聯隊 第二大隊

右編入ニ伴ヒ左ノ如ク編成改正ヲ行フ

歩兵第三十二聯隊編成改正表

I	被編部隊
I/32i	長伊東大尉
I/特四	編成
I/TAS	充
I/MGS	部
	隊



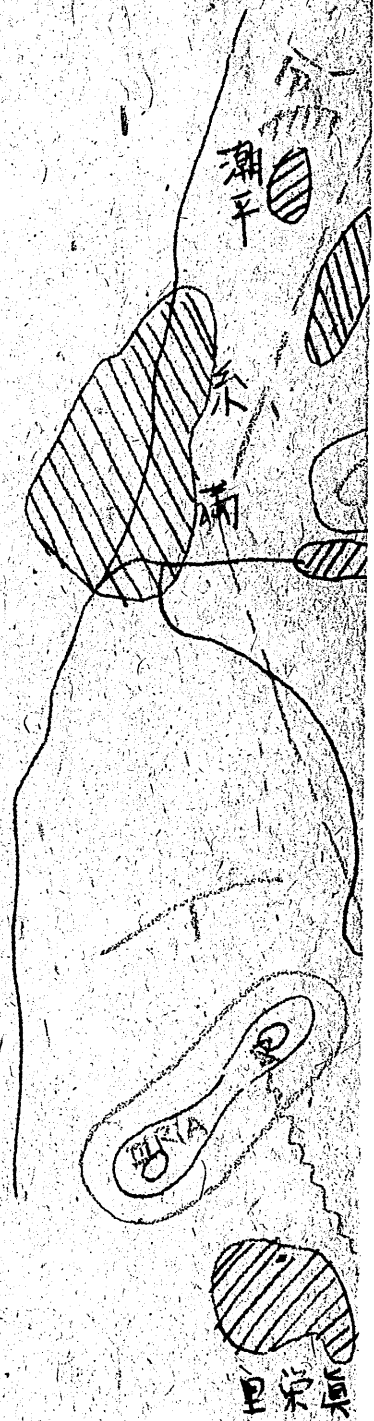
國吉附近陣地占領要圖
(於六月三日)

五十二、六月三日國吉附近陣地占領要圖、師團命令ヲ受領シ左記要圖ノ如ク陣地占領
ヲ完整ス

五、第五期國吉附近陣地占領ヨリ戰局終了トシ(五月二十八日)

各部隊ノ人員ハ概テ充足ニ得タルモ小銃各大隊70〜80、〇4、5、〇4、5
MG 3、5 TA 門 RiA 三門、小火彈藥少數ニテ將校以下人員素質及裝備ハ
極メテ低下セリ

iTL	TA	RiA	III	II
長萩生中尉 ITL/32i	長広瀬少尉 TA/32i IIIAS、主力	長三好大尉 RiA/32i	長高尾大尉 III/32i III/32i、黒川隊 一部/IIIAS 171795 主力	長金田少佐 II/32i II特四 IIIAS (中欠)



五十三、六月四日乃至九日迄編成及正並陣地ノ強化ニ努ム

五十四、六月十日、^{1/2} (長編、少佐) 配属セラレ又此中一部編入セラル依テ此中ヲ五ニ編入

セシメ^{1/2}ハ予備隊トセリ前進陣地附近ニ敵戦車始メテ現出ス

敵(戦車)主力ハ当初其志頭方面ヨリ445方面ニ進出シ我正面ニ対シテハ敵ヲ見サリ

ニ所時日ノ経過ニ從ヒ逐次東風平志多伯方面ヨリ實數朝平方面ニ進入、又武富

波平附近ニ進入ス

五十五、六月十日、我主陣地ノ前ニ敵現出シ激烈ナル戦斗ヲ惹起ス

敵ハ水陸両用戦車四輛ヲ以テ糸崎沖輸送船ヨリ兵器彈藥糧秣材等

ノ却下食糧ヲ開始ス集積地ハ糸崎沖北側本道附近及潮平又潮平南側附近

實數北側、東西高地線ニ逐次大砲戦車部隊ノ進入ヲ見ル敵ノ攻撃ヲ重兵ハ当初右第一線ヲ判断セラレタリ是最新中第一線ニ指向セラレテ左第一線ニ指向セラレ

五十六、六月十二日ニ至リ戦車ヲ伴フ敵ノ攻撃ハ愈ニ猛烈トナリ各正面共激斗ヲ交ヘ戦果極

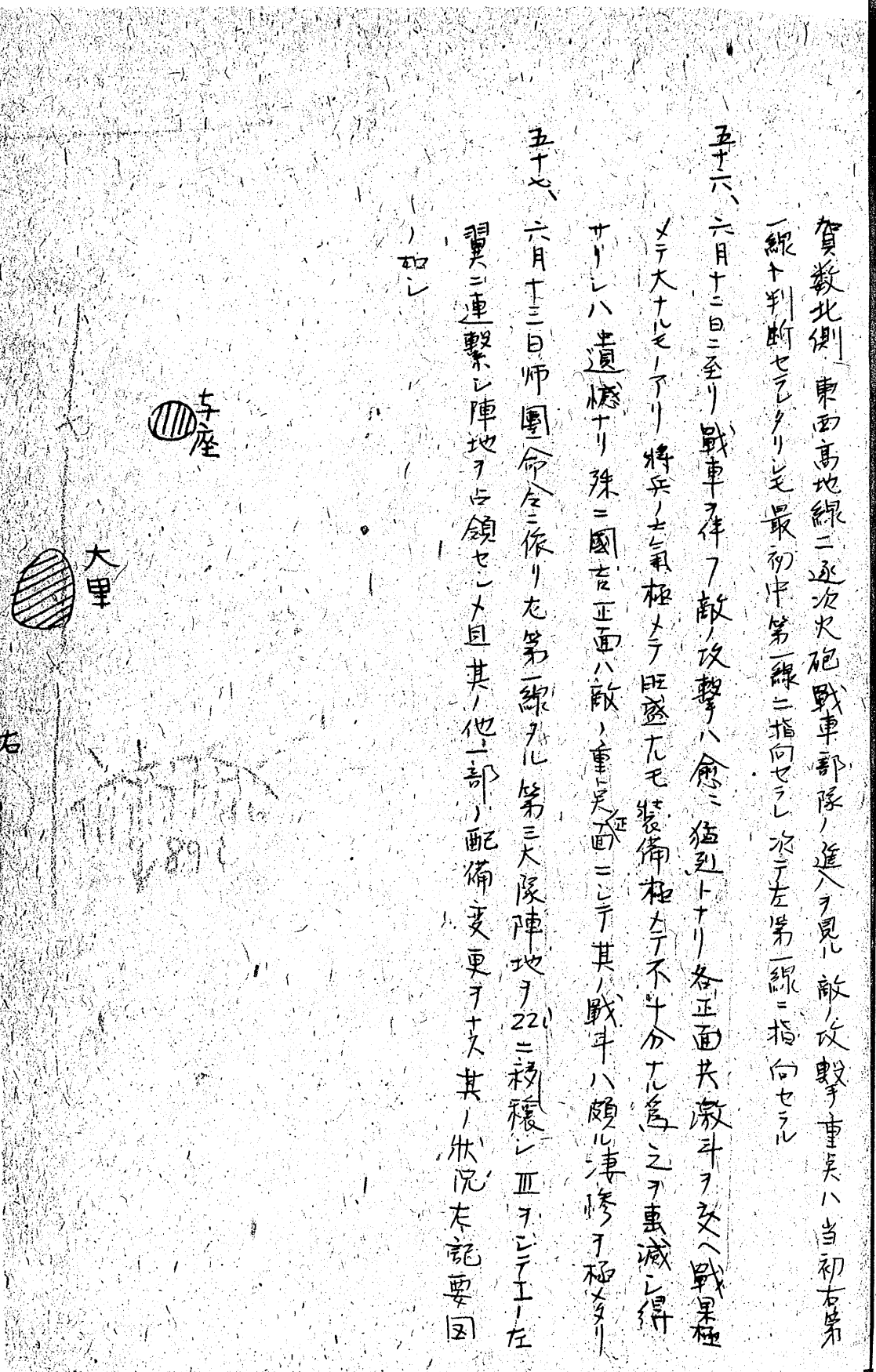
メテ大ナルノアリ將兵ノ士氣極メテ旺盛トモ裝備耗タテ十分ナル急之ヲ惠減シ得

サレハ遺殘ナリ殊ニ國吉正面ハ敵ノ重兵ニテ其ノ戦斗ハ頗ル凄慘ヲ極メタリ

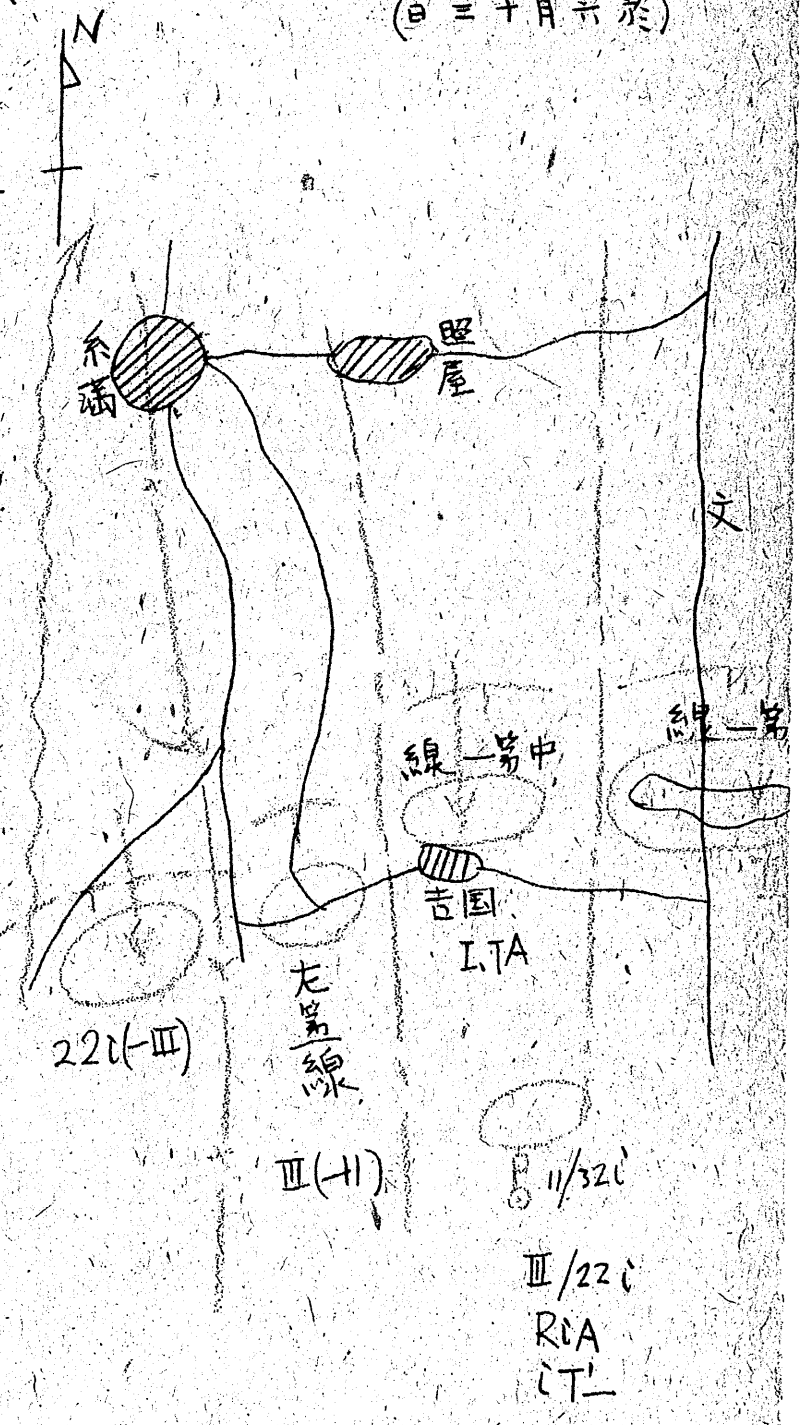
五十七、六月十三日師團命令ニ依リ右第一線外ハ第三大隊陣地ヲ22ニ移積シ五ヲニテ上ノ左

翼ニ連繫シ陣地ヲ占領セシメ且其ノ他一部ノ配備変更ヲナシ其ノ状況左記要図

如シ



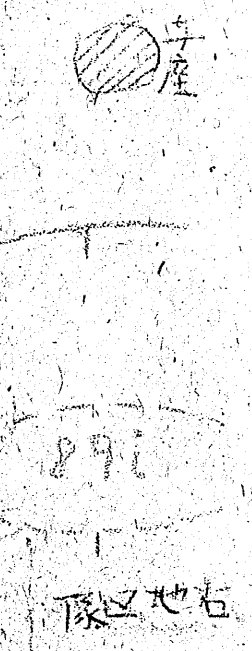
左地区隊配備変更要図
(於六月三十日)



五、爾後全線共三將兵ノ勇戦敢斗後リ現陣地ヲ確保シテ氣極メテ旺盛ナリ六月十日
 取(予備隊)ノ中隊ヲ師團命令ニ基キ89iニ配屬ス又今日取(予備)ヲシテ中核台
 (聯隊本部高地)ヲ占領セシム六月十二日野戦倉庫弁井主計大尉以下ヲ配屬セ
 シル

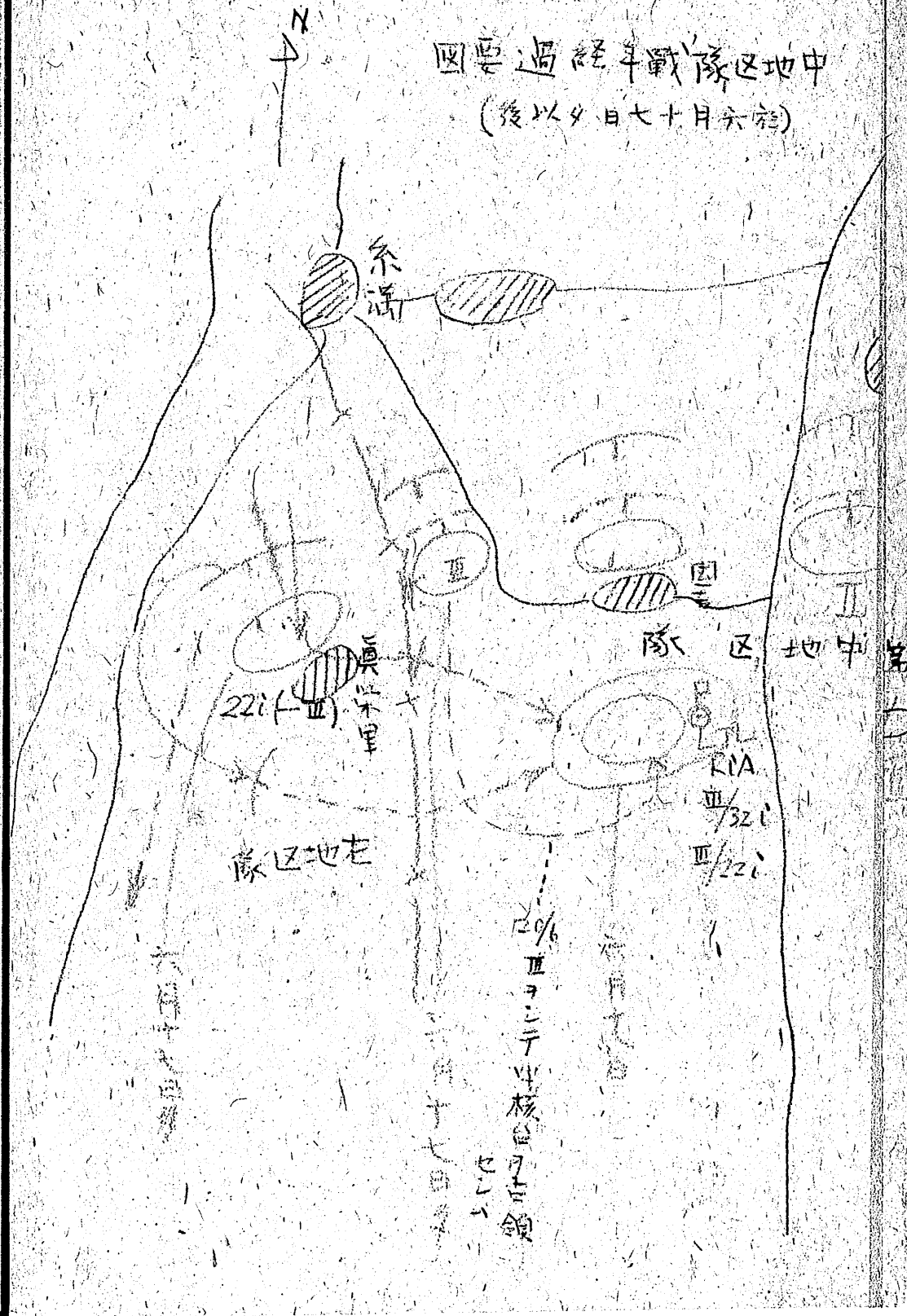
五十九、六月十七日午後敵ハ主カヲ以テ左側ノ正面ヲ突ク中街道方面ヨリ東ノ大
 東端ニ進出スルト共ニ乃高地ノ22i聯隊本部ヲ突破シ中核台ヲ包圍スル態勢ヲ
 シテセリ

六月十八日ヨリ各大隊共敵ノ重圍ヲ受テ最後ノ一兵ニ至ル迄連日激斗ヲ續テ多ク
 戦果ヲ挙げタルモ死傷モ亦極メ大ナルモノアリ爾後聯隊本部陣地ノ中核台ハ
 戦車十数輛ヲ有スル優勢ナル敵ノ攻勢ヲ受テ連日之ヲ退還シ戦果ヲ收メタリエモ亦
 困乏極テヨリ其ノ背後ヲ攻取セラルニ至リ六月十九日正午生存者大隊長金田少佐
 以下僅カニ二十六名トナリ最後ノ斬込ヲ實施ス(キ無選アリ午後連路杜絶ス
 其ノ状況要図左ノ如シ)



備考
 一、中地区隊正副隊長陣地ヲ堅守シ
 二、其ノ一、中隊ハ六月十七日午後在
 三、区隊正面ヲ突破シ中核台ヲ占
 四、攻取スルト共ニ中地区隊ノ左側方面
 五、攻取ス

中地隊戰經要圖
(後以夕日七十月六)



六十、中核台ヲ死守シ最後迄陣地ヲ確保スル目的ヲ以テ六月二十日Ⅱヲ以テ敵ノ重圍ヲ脱シ
中核台ヲ占領セシム此頃敵ノ攻勢ハ愈々増大シ戦果ヲ收ムルト共ニ飛
續出ス

訓示要旨

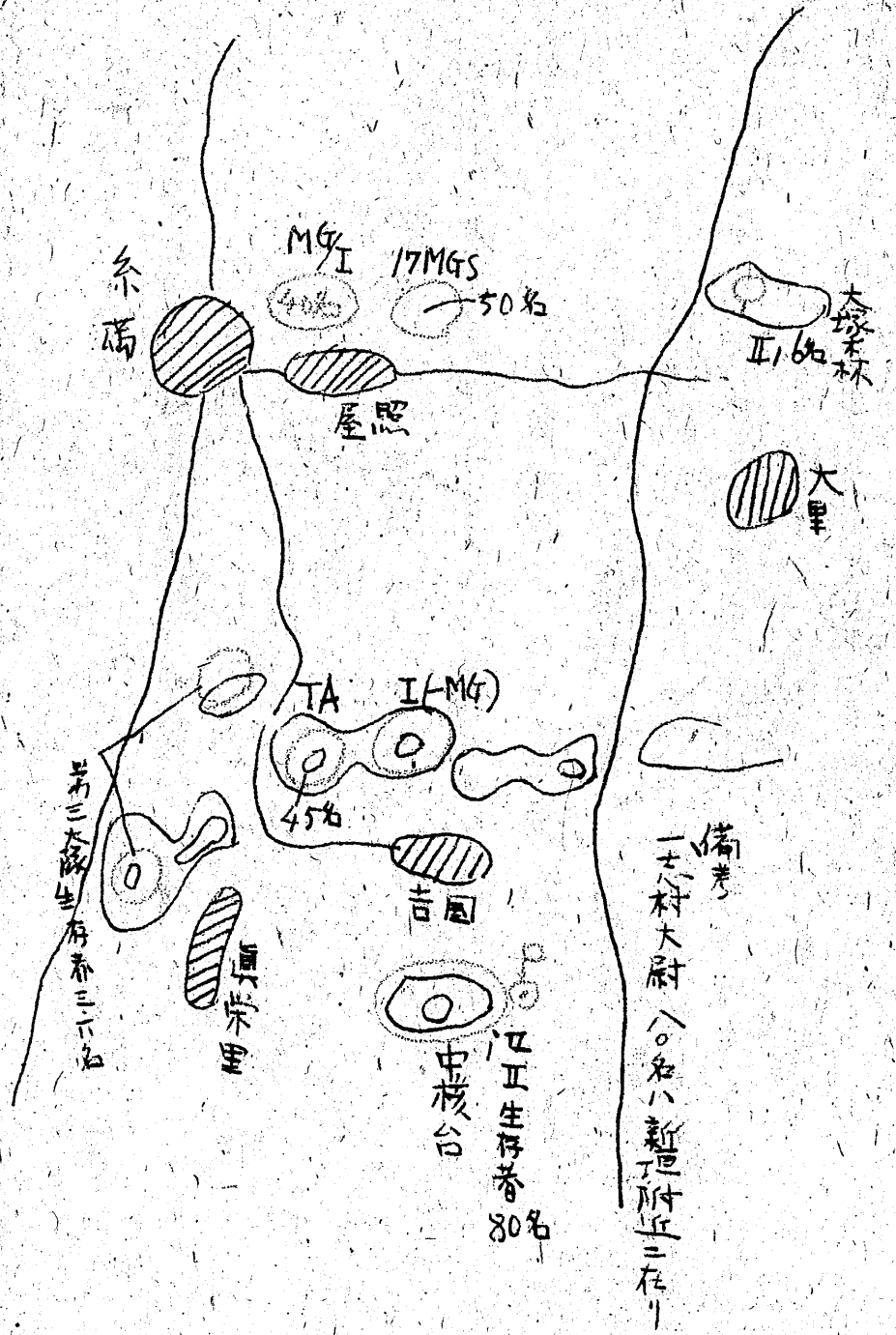
六十、六月二十日九記要旨ノ師團長訓示ヲ受リ
師團ハ茲ニ組織的通信機關破壊セラレ統一の指揮ヲ實施シ得サルニ至リシヲ以テ
各部隊ハ現陣地附近ヲ占領シ最後一兵ニ至ル迄敵ニ出血ヲ原要スルハ決シテ敵ノ廣
四トナリ取ヲシテカレ最後ハ忠節ヲ完フスル

六十二、中核台陣地ハ連日能ク健全セルモ戦斗力減耗シ六月二十二日夕刻ニ至リ遂ニ敵
ノ重圍ヲ受ケルニ至リ第一大隊連絡ハ此頃ヨリ杜絶スニ至リ

六十三、爾後各部隊ハ現陣地ヲ根據トシテ連日敵陣地ニ對シ斬込ヲ實施シ多大ノ戦果
ヲ收メタリ此頃敵ハ層々仁善屋武附近ニ迫リ彼我激戦ニシテモノ如ク

六十四、聯隊ハ師團長訓示ニ基キ最後一兵ニ至ル迄敵ニ出血ヲ強要スルヲ連日ニ亘リ斬込
實施シ八月十五日ニ於テ各部隊ハ配置ヲ記要圖ノ如ク

生存者配置要圖



六十五、八月二十九日敵ハ八月二十五日 日本が聯合隊國ニ對シ全面的降伏セリト理由ヲ以テ抑留ヲ申出テタルヲ以テ之ニ応シ抑留セルノニ至ル

八月十八日夜武勳赫々タル先輝アル軍旗ヲ處理シ奉ル

- 六十六、戰訓事項別紙第一ノ如シ
- 六十七、全戰鬥間戰果ノ概要附表第一ノ如シ
- 六十八、戰鬥間破認戰死者人員ノ概要附表第二ノ如シ
- 六十九、戰鬥間負傷者人員ノ概要附表第三ノ如シ
- 七十、生存者人員ノ概要附表第四ノ如シ
- 七十一、戰鬥間生死不明者ノ概要附表第五ノ如シ
- 七十二、勅令前投降者人員ノ概要附表第六ノ如シ

附表第一

津嘉山附近	首里附近	前田附近	津嘉山附近	戦区 地勢	戦 闘 向 戦 果 一 概 要
200	2,970	3,200	400	殺傷人員	
	10	36	14	水揚生 炎上	
	1	6	1	破壊 火砲	
		6	6	破壊 車輛	
		10	4	破壊 Mf ig	
		60		ガソリン 罐 倉庫	
全石	全石	戦果トス 聯隊ミカノ	戦果トス 伊東隊	摘要	

合計	其他
100	2
19	4
355	54
1897	627
2371	687

賞詞

歩兵第三十二聯隊

同配属部隊

独立機甲銃第三大隊

独立機甲銃第十七大隊

独立連射砲第三大隊 第一中隊

独立第三十六部隊

師團通信隊 一分隊

工兵第四十四聯隊 一分隊

右昭和二十年五月下旬師團、敵第六十二軍團ニ對シテ總攻撃作戦ニ参加スルヤ、
 聯隊長陸軍大佐^北榎格郎統率、下至トシテ榎原前田附近ニ戦斗師團トシテ第
 一線聯隊トシテ優勢ナル敵ニ對シテ至難ナル状況ヲ克服シ善戦善謀能ク晝
 夜ニ日三回リ猛攻ヲ敢行シテ敵後續部隊ヲ出雲、初動ヲ破攘シ師團全般ノ
 攻勢ヲ容易ナラシメ大ニ敵武ヲ宣揚ス
 第三第一大隊ハ榎原西北側高地道塁ヲ命ヲ受クルヤ敵ノ混乱ニ乘シテ拳ニ突入
 疾風迅雷同攻ニ進出シテ敵ニ甚大ナル脅威ヲ與ヘ第二大隊第三大隊亦前由

附近師團を襲ひ、要害に痛撃を予し、加へ更に独立第三十六大隊、第一線大隊、
勇猛跟随して之を滅び、加へ共三師團の攻勢作戦に奇功を著せし所極大なり
なり
以六聯隊長に卓越せる指揮統率、下聯隊、精強團長、傳統精神を遺憾なく
發揮せしモノにて、武勳真に模範たるに足る
仍て茲に賞詞を附す

昭和三十年五月十日

第十四師團長

陸軍中將

從四位
上

兩宮

栗

89 i